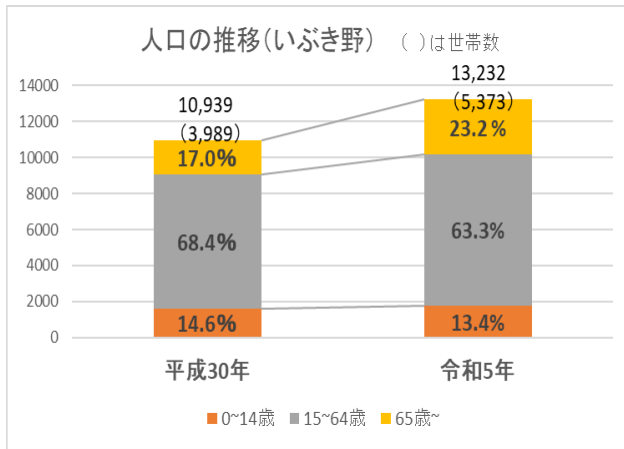


いぶき野校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	9
	校区社協役員数	15
	校区社協ボランティア数	41
	民生委員・児童委員数	14
	老人クラブ会員数	147
	いきいき体操数	5
	おたがいさまサポーター数	18
	高齢者見守り協力事業所数	6
対象者数	子ども食堂(子どもの居場所)数	0
	自主防災組織の有無	有
	ふれあい訪問利用者数	0
	誕生月訪問利用者数	119
	避難行動要支援者登録数	78

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.買物が便利なまち	
2.困りごとの相談窓口がわかりやすいまち	
2.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.高齢者の経験や強みを生かせる場所	1.自由に使える友だちとのたまり場所
2.子育てを応援してくれる場所	2.雨の日でも遊べる場所
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.静かに宿題・勉強ができる場所
	3.いろいろな遊び道具があって自由に遊べるしせつ
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.高齢者の地域での見守り訪問	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.子どもの居場所づくり	2.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする
3.災害ボランティア	3.年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ コロナ禍での数年間は、話し合いの会議をしたくてもできなかった。コロナもおさまってきたので、みんなでいぶき野のことを話し合い、目標に向かって活動に取り組んでいきたい。

住み続けたい つながいがある 明るい豊かな街

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 笑顔でつながる街づくり

【具体的な取り組み】

- 明るいあいさつを広めていく
- 困った時の相談窓口の情報を届ける
- 朝・夕の散歩時の見守り活動など、ライフスタイルに見守りを取り入れる

重点取り組み②

【目 標】 災害時に困らない街づくり

【具体的な取り組み】

- 非常食等の備蓄を各家庭で取り組めるようにする
- 防災訓練を定期的に行い、習慣になるまで続ける
- 防災マニュアルから学び、活用していく

重点取り組み③

【目 的】 人々の交流が増える街づくり

【具体的な取り組み】

- 子どもや高齢者が一緒に集えるように集える場を考えていく
- 身近な集いの場の開催情報を周知していく
- 既存の行事にプラスアルファの内容を考えて、多くの人が交流できるようにする

